

県連ニュース

2017年 11月号 NO-555



滋賀県勤労者山岳連盟

今月号の表紙「那須の紅葉」真っ盛りの写真です。
是非 ホームページでカラー写真をご覧になってください

「那須の紅葉…ひょうたん池から」
滋賀山友会所属 北村 光雄さん・山森 恵子さん提供

10月の3連休に「男体山と那須岳」に登ってきました。

那須の紅葉は、真っ盛りですばらしい景色でした。

コースは、

10/8 峠の茶屋～茶臼山（1897.6m）～朝日岳（1896m）～三本槍（1916.9m）～
隠居倉～三斗小屋温泉「大黒屋」

8日朝は快晴でしたが、山頂はガスに覆われて残念でした、でも最後の三本槍山頂と隠居倉の展望は快晴の中でした。

10/9 三斗小屋温泉「大黒屋」～ひょうたん池～峠の茶屋

9日も快晴。お天気に恵まれ、光の当たる紅葉は、まぶしいくらい美しかったです。(M)

目 次

エッセイ		3
案内	第55回 登山祭典 (既報)	4
	創立40周年記念祝賀会 (既報)	
	雪崩事故を防ぐための講習会 (既報)	5
	第8回女性と登山全国集会	
報告	第9回 理事会議事録	6
	比良縦走大会	9
	近畿ブロック自然保護委員会	10
	ハイキングセミナーⅢ	11
	救助隊安全登山講習会	13
	CSSレベルアップ登山講座	15
	滋賀民報社掲載原稿 (その8) 転載	18
	県連40周年を迎えて	19
	滋賀労山発足40周年に寄せて	
	ぐうたら理事長のつぶやき	23
予 定 表		24

「 ゆ こだわりの姿と気配り 」

彷徨倶楽部：高田忠雄

近くに、昔からの銭湯「勝山湯」がある。開湯4時から～20分ほど前から高齢の常連が次々やってくる。イレズミ者もなじみで、サウナで普通に世間話しをしている。ルーティン。それぞれのお決まりの所作は銭湯でも見られる。

性分なのだろうか、一つ一つの動きがやけに細かい人がある。何事もきっちりしないと気がすまないと全身で言っている初老の常連。

浴室に入ってすぐ右。一番手前の洗い場が定位置。シャンプー、リンス、液体せっけん、ひげそり、常に右から順に並べて置く。座る前に椅子に熱い湯をかけ、石鹼を少し泡立てた手で鏡を拭き、流す。鏡から目を離さぬまま顔を右に左に向け、男前ぶりをチェックする。そして声を出さず口を大きく開けて「アイウエオ カキクケコ・・・」。定位置に誰か座っている時は、少し離れた「仮席」で空くのを待つ。

後の流れは～ 体を洗う。大きな浴槽に入る。縁につかまり湯中で片膝ずつ胸につける。ストレッチの一種か。続いて水風呂で水中潜りとスクワット。その後、脱衣所でテレビを見ながら休憩。野球中継の日はコマーシャルが始まるまでとどまる。

再び「自席」へ。鏡で男前ぶりをチェックし、鏡の自分をじーと見つめながら3回深呼吸。再び大きな浴槽へ。スクワット、ストレッチ、腕立て、見たことのない謎の「体操」も。これを湯中で、水中で、規則正しく実行する。

毎日を健やかに過ごすために、彼なりに編み出した手順なのだろう。その証拠に、腹のたるみが目立たない。肌につやがある。

かなりのきれい好きだ。湯に、水に、何か浮いていると、手ですくい、桶ですくい。タイルの汚れを見つけると、何度も湯をまいて流す。ここにいる間はオレが浴室の清潔さを保つのだと言わんばかりに。湯水を使い過ぎの感はなくもないが・・・。

彼が順番通りに動きにくいのは夏である。原因は水風呂の混雑。何も知らずに水に長くつかかる人は、入れず悲しげな彼を見ても何も感じない。すごすごと脱衣所に向かう背中。見計らって水風呂に戻ってきた。少々体が冷えても、流れは変えない。

にもかかわらず、決して他の客に迷惑をかけない彼。常連たちも彼の動きをよく分かっている、邪魔をしない。

ゆ を共有する者同士の暗黙の約束ごとなのだ。

おそらく、ここだけではないこだわりの姿。気を配るかたちがある。

第55回 登山祭典(既報)

実施日:2017年10月29日(日)

- ★滋賀山友会:音羽山 ★湖南岳友会:雨乞岳 ★比良雪稜会:己高山
★ちごゆり山歩会:観音正寺ときぬがた織山 ★彷徨倶楽部:大文字山
★びわこテクテククラブ:金勝アルプス ★シャクナゲ廻行クラブ:他会のコース
に参加

各会で秋の一日、登山の楽しみを皆が分け合い、55回を迎えた登山祭典を盛り上げ併せて登山人口の拡大に努めましょう。

(詳細案内は県連ニュース10月号に掲載してあります。)

県連創立 40 周年記念祝賀会のご案内(既報)

日ごろより県連の活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、滋賀県勤労者山岳連盟も創立 40 周年を迎えました。先輩諸氏の歩みを引き継ぎ、次々と新しい歴史を重ねることができました。

そこで創立 40 周年を記念して、ささやかではありますが祝賀会を開催することにしました。ひとりでも多くの会員の皆様にご参加いただき、さらに新しい歩みを一歩ずつ踏み出したいと思えます。

また、元会員の方にも連絡がつくようでしたら呼び掛けていただきたいと思います。

参加者は各会でまとめていただき 10 月 20 日くらいまでに友永までお知らせ下さい。たくさんの方の会員の方に参加していただくようお願いいたします。

とき 2017年11月26日(日) 受付午前10時30分 開場11時から

ところ 大津市立市民文化会館

住所 大津市御陵町2-3

(京阪別所駅下車、徒歩約5分)

参加費 3000円

自慢の写真や絵画、懐かしい写真などありましたら、当日お持ちいただき会場に華を添えていただければありがたいと思います。よろしく願います。

各会のほうでも10分から15分程度の出し物も出していただければありがたいと思います。どちらとも準備の都合があります。早めにお知らせください。

参加者募集中

第25回近畿ブロック 雪崩事故を防ぐための講習会 既報

『理論講習』※2017年11月25日(土)または12月3日9:00~17:30

場所:大阪府勤労者山岳連盟事務所

『実技Ⅰ』※2018年1月20日(土)~21日(日)

場所:長野県駒ヶ根市中央アルプス 千畳敷カール周辺

- 積雪の断面観察 ● 積雪の危険度評価 ● 雪庇観察
- コンパニオンレスキュー ● ビーコン操作 ● 埋没体験

『実技Ⅱ』※2018年1月27日(土)~28日(日)

場所:比良山・大山口~堂満ルンゼ付近 ● 梱包・搬出訓練 等

『定員』 ※基本クラス20名(初めて受講する方)

中級クラス10名(基本クラス修了者もしくは同等の経験のある方)

『参加費』35,000円(理論講習のみの方 3,000円)

『申し込み締め切り』 ※11月10日(金) 救助隊事務局 友永まで連絡を下さい。

第8回女性と登山全国集会案内

女性委員会創設40周年記念として上記の集会が開かれます。

日時 2017年12月2日(土)~3日(日)

2日13時受付開始 3日14時閉会

参加費 9000円(宿泊、1泊2食+弁当、交流会費含む)

締切り 10月31日

会場 国立女性教育会館(埼玉県嵐山市)

テーマ 女性委員会40年の歴史から学ぶ「新しい波を女性たちから」

講演「女性の体の変化と体力作り」講師 石田良恵氏

分科会 ①若者が考える登山

②自立した登山目指して

③女性委員会活動

連絡が遅くなってしまいましたが、興味のある方、参加してみたいと思う方、友永まで連絡してください。詳しい実施要項、申込書をお送りします。

交通費、参加費の全額は無理ですが半額程度は補助したいと思っています。

申込先 友永 電話番号 077-524-5618 メールは yt19481013@yahoo.co.jp です。

2017年度 第9回理事会報告

日時 10月4日(水)19:00-20:30 於県連事務所

司会:北村

記録:乾

出席:秋田、北村、友永、奥野、中島、堀部、東郷、長谷川、高玉、池田、川端、宮内、
乾、今村

下記議題につき報告、協議、決定しました

議題:

1. 比良縦走大会(報告)

・参加者 会員 15名 完走者 11名

・感想

タクシー4台利用で、7:45に同時出発できた。

道迷いもなく、案内板が役に立った。

涼峠からの下山道がきびしく、コースの再考も必要か。

アンカーは4人(打見山、北比良峠、ゴール)体制でよかった。

打見山から下山グループは木戸峠経由でキタダカ道下山

北比良峠から下山グループはイン谷口へ下山

全縦の目的について(体力の確認、意義から問い直す etc.)

・来期に向けての反省ほか

比良縦走大会検討委員会の設立、1年以内に意見をまとめる。 委員:秋田・今村・宮内

・ 県連ニュース原稿、登山時報へ投稿→友永

2. 登山祭典(協議)

・日程: 10/29(日) ・担当:(友永・池田)

・場所:(山友会:音羽山) (岳友会:雨乞岳) (雪稜会:己高山)
(彷徨倶楽部:大文字山) (ちごゆり:織山) (シャクナゲ:他コースに参加)
(びわこテクテククラブ:金勝アルプス)

・各会へコース確定済み ・県連ニュース 10月号掲載済み、

・ちらし作成済み 8/22 発送

・ 一般参加者の保険締切り→10/26までに参加者名簿(名前・生年月日)を連絡
担当 友永

・一般参加者の保険料 100円を県連に支払う

・ 県連ニュース掲載(B5で1~2枚)担当者を各会で決める。
同時に写真撮影(1~2枚)担当に依頼する。

3. 祝賀会(40周年記念行事)(協議)

・40年の歩み→年表の訂正、加筆は10月末ころまでに乾へ直接送信

印刷:表紙のみカラー

・しおり

歴代役員名簿、会員数変動表の作成(担当:友永)

全国連盟、各会の代表のメッセージを掲載

式次第、現会長の挨拶掲載

寺川元会長、西村さん、柴田さんより投稿を受諾済み。

- ・創立以来現役の会員として活動しておられる4名の方を表彰する。
- ・清掃登山関係の自治体、全国連盟、近畿ブロック、岳連、県連OB役員→45通郵送済み。
- ・9/26 現在 出席3名 欠席7名
- ・案内文を11月号の県連ニュースに掲載
- ・料理は10月ごろに決定予定
- ・スタッフは午前9時集合で、17時まで
- ・9月8日に会場下見→会場配置図(案)の説明
- ・祝賀会:大津市立 市民文化会館で実施 11/26(日)開催 10:30 開場、11:00 開会、15:00 閉会

統括責任者:友永

額装した作品を展示

任務分担の確認

進行予定の説明

9/21 打合せ報告

次回打ち合わせ 10/26 14時から事務所で行う。

祝賀会の参加予定数は60名を想定

ビール・焼酎等は持ち込み可

紅白饅頭(260円)を配る予定

出席者を各会でまとめて、10/20までに連絡(担当:友永)

会場で流すBGM的画像のDVDの提供者の募集を各会で募集する。

4. 各部報告

組織:会員数動向 (前年度末対比 215/222 96.8%)

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
80/80	53/52	45/46	15/15	17/17	5/5
合計 2017.9E/2017.8月分E					
215/215 100%					

- ・2018年労山カレンダー申込み(定価800円 10月3日注文 47部)

教育:・ハイキングセミナー第3回実技

9/26 音羽山周辺 参加者 2名

10/1 音羽山周辺 参加予定者 6名

今後の活動の説明

ハイキングセミナー受講生は、来期のスタッフとして参加予定

機関紙:

・県連ニュース 11月号 555号

原稿締切り 10/15 、印刷・発送 10/20

財政:

- ・ 財務状況報告、確認
- ・ 講習会参加補助費のアナウンスを各会でする。

救助隊:

・9/11 事務局会議

・9/30 安全登山講習会「熊とどう関わるか」

熊森協会 森山会長にお話しをしていただく。 参加者 16名

自然保護:

・10/6 近畿ブロック自然保護委員会(中島参加予定)

・10/28~29 全国自然保護担当者会議(中島参加申し込み)

・11/11 交流ハイキング 井ノ口山

CSS:・9/8~10 槍沢~槍ヶ岳 5名

遭難対策・SKI-NET は特記事項なし

5. その他

・近畿ブロック会議 10/18 19時~ 大阪府連事務所

・全国自然保護担当者会議 10/28~29日 日光温泉 旅の宿 風のひびき

・ 第8回女性と登山全国集会 12/2~3 埼玉県嵐山市 国立女性教育会館 締切り10/31 定員 150人

→問合せ・申込は友永まで

・ モンベルのスポンサー契約は不成立

次回第10回理事会 11月8日(水)19:00 ~

2017 年比良縦走大会報告

実施日 2017 年 9 月 24 日

報告 友永 芳和

今年はタクシーの手配も上手く行き4台のタクシーと堀部車に分乗して登山口まで行く事ができ、7時45分に一斉スタートする事が出来ました。昨年より7名参加者が減り15名で出発、途中の打見山で3名、北比良峠で1名の方がリタイアされましたが、天気にも恵まれ、11名が完歩という結果になりました。

事前に設置したコース案内表示が役に立って道迷いもなく無事に終わりました。

ゴールの果物などが好評でした。涼峠からの下りは膝に負担がかかり過ぎるとの意見もあり、来年度はコース変更も含めて検討する事となりました。

2017 タイム表

スタッフ フリー1名、アンカー4名、北比良峠3名、ゴール2名、本部2名

出発時間	到着時間			所要時間	所属会	氏名
登山口	打見山	北比良峠	北小松			
7:45		13:18	16:43	8時間 58分	滋賀山友会	小西務敦子
7:45		13:18	16:43	8時間 58分	滋賀山友会	乾 美智江
7:45		13:18	16:43	8時間 58分	滋賀山友会	小間 幸美
7:45	下山				滋賀山友会	山田 比朗子
7:45	下山				滋賀山友会	北川 享子
7:45	下山				滋賀山友会	阿部 恵子
7:45		13:18	16:43	8時間 58分	滋賀山友会	前田 真砂子
7:45		13:20	16:05	8時間 20分	湖南岳友会	大門 喜昌
7:45		13:20	16:05	8時間 20分	湖南岳友会	東郷 博行
7:45		下山			湖南岳友会	成松 綾子
7:45		13:20	16:05	8時間 20分	湖南岳友会	蒲生 泉
7:45		11:30	14:00	6時間 15分	比良雪稜会	菅 豊三郎
7:45		13:16	16:25	8時間 40分	比良雪稜会	藤野 健太郎
7:45		13:16	16:05	8時間 20分	比良雪稜会	小原 邦雄
7:45		11:30	14:00	6時間 15分	比良雪稜会	川嶋 文男



参加者の皆さん、スタッフの皆さんお疲れ様でした。

2017年度 第3回近畿ブロック自然保護委員会報告

2017年10月6日(金) 自然保護部 中島英雄

司会:大阪(澤村)

各府県連報告

滋賀:滋賀県連第55回登山祭典のピラ、40周年記念集会の演出表及び同集会で歌う山の歌の楽譜を渡し、歌って宣伝をしました。(中島)

大阪:2017年10月の自然保護だよりから鳥獣目撃状況では雷鳥の動画と弥山・明星が岳の立ち枯れ状況の報告を受ける。(澤村)

兵庫:10月の自然保護委員会の議事録から説明と六甲山系河川の水質調査表の説明。飲めるか飲めないかの検査ではないそうです。(中原、塚本)

和歌山:本日欠席でした。

奈良:「奈良県連・自然保護委員会」より8/20 ちびっこあそび隊を実施した。最近ではこども1人に親が1人から2人同伴で来るような傾向ですと報告。(高橋、坪井)

京都:自然保護委員会 学習資料と9月2日開催の自然観察会を坂本～横川の大宮林道で、講師はNPO 自然観察指導員の清水正氏。比叡山の滋賀県側は2億8000年前の土壌が残っていて、日本にある4000種の植物の内1000種もあるそうです。(麻田)

近畿ブロック交流ハイキングのお知らせ

日程、場所検討 11月11日(土)京都・井ノ口山 伏状台杉 検討結果計画案のとおり実施することになりました。(麻田)

実施日:11月11日(土)

集 合:地下鉄国際会館駅北出口9時00分

山 域:北山・井ノ口山 片波川源流域の伏状台杉群

見 所:丹波広域林道建設工事で貴重な自然環境が失われそうになり、多くの団体とともに反対運動をし、ルートを変えさせた。北山最大の台杉群です。

コース:国際会館駅前9:10 出発ー広河原杓子尾町～井ノ口山の台杉群約3時間ーバスで移動14:30～片波川源流域の伏状台杉群約1時間15:30 出発ー京都着17:30 ごろ

費用予算(参加費):3,500円

定 員:27人(補助席7人を含む)大阪6 兵庫6 奈良8 滋賀5 京都2人

締め切り:11月7日(火)

申し込み:滋賀県連は中島英雄へ 電話 077-583-7036 または 090-7097-8425

Eメール hide_nakashima753@yahoo.co.jp 先着順とします。

次回の自然保護委員会は2018年1月12日(金)10時～12時 大阪労山事務所

音羽山(ハイキングセミナーⅢ)

□ 2017年9月26日 晴

9/26(参加者)友永、講習生 岳友会 蒲生

10/1(参加者)友永、馬場 講習生 山友会 石田 雪稜会 小林 岳友会 東郷

9/26(コースタイム)

膳所 8:10---8:50 平尾 8:55---9:20 亀池分岐 9:30---10:10 尾根出合
10:10---10:40 460mP 10:55---11:15 若葉台分岐 11:35---12:15 244mP分岐
12:30---12:55 国分峠 13:05---13:25 国分山---13:35 鉄塔 13:45---14:05 国
分団地

(報告)

9/26 の分です。10/1 も同じコースで同じ事をしましたので省略します。

蒲生さんの日程が合わないので今日にする。膳所駅に集合し竜ヶ丘団地を抜けて高速を潜り、平尾に着く。少し入り口で迷ったが山道に入る。ピークを一つ越え亀池周回路分岐に着く。ここで磁石を使って山座同定をする。似たようなピークがあるとなかなか難しい。367m 続きの尾根に合流する。一度通っているので現在地の確認は簡単だ。観音越を過ぎ 460m ピークに立つ。方向を確かめて進む。一度下り小さなピークから左に曲がり、尾根の分岐を右に入り下れば若葉台分岐に着く。ここで軽く食事をして 361mピークへ向かう。ピークの数を確認しながら行く。小さなものも入れると4つあったようだ。ここからは尾根が曲がりくねっているので現在地を確認しながら地図読みを続ける。三角形のピークの手前で 244m への分岐に出る。ここで休む。緩やかに続く尾根を行き、南へ急な下りを終えると国分峠に着く。ここからは緩く続く尾根となり 20 分ほどで三角点のある国分山に着く。岩混じりの尾根を行きピークに着く。ここで方向を確かめて進むとすぐに鉄塔に出る。左に下り再び鉄塔に出る。さらに下ると鉄塔に出て左にバスが見えている。慌てて下りバスに乗り込んだ。

今日は地図読みを主にした。

(ハイキングセミナーに参加して)

蒲生 泉(湖南岳友会)

3回のハイキングセミナーを受講して感じた事は、実際の山の地形はたいへん複雑で、教科書に載っているCG画像のように典型的な形になっている事はまずないという事です。地図を読みながら山を歩けるようになるには、まだまだ修行が必要な事を実感いたしましたとはいえ、受講したおかげで、基本的なコンパスの使い方や地図の見方を再認識する

事ができました。これからは山に行ったら、「ここはピークになっているんじゃないか

な？」とか、「今、地図のどのあたりにいるのかな」という事を意識しながら歩きたいと思います。

小林 智子(比良雪稜会)

「一回目には見えなかった<等高線の閉じていないピーク>が三回目には、どれもこれもがピークに見えるという逆の現象に苦笑。それでもほんの少しでも見えるような気分♪にワクワクしました。

仲間が増えて、もっと続くと嬉しいなと思っています。

暑い中、三度にわたってありがとうございました。

石田 千恵美(滋賀山友会)

セミナー最終日、地図を見ながら交代で次のピークまで行くという事で、先頭になるとここはピークになるのかな？ 時には立ち止まって確かめて前に進んで行き、参加者で話をしながら楽しく進む事ができました。

蜂と蜘蛛の巣に道を阻まれながらの道のりでしたが、今まで登るだけの山が少しずつですが地図を見ながら登る楽しさを知る事ができ、私なりの進歩です。

機会があればまた参加したいですね。

馬場弥栄子(滋賀山友会)

音羽山ハイキングセミナーに講師手伝いとして参加させていただきました。

講師としての実力はありませんが、人に説明をするということは、自分にも再確認するという事につながり改めて勉強になりました。

音羽山は大津周辺に住んでいるものには登山道へのアプローチも短く、ルートもたくさんあり、周回コースをとっても時間的に短く行けるので地図読みにじっくり時間をとれ、最適地だと思います。普段の山行に今回マスターしたことを生かせれば、ますます楽しい山行になることでしょう。

東郷 博行(湖南岳友会)

これまでは地図読みやコンパスの使い方などガイドブックを見る程度でしたが、今回のセミナー参加で丁寧に指導していただき、とても有意義な経験をさせていただきました。

おかげさまで未熟ながらも「基本だけは理解出来たかな・・・」という感じではありますが、熱が冷めない今のうちに実践していこうと思っております。

今後ともご指導のほどよろしくおねがいいたします。

救助隊 安全登山講習会 報告書

奥野 豊(比良雪稜会)

日時： 2017年9月30日

時間：午後1時30分開場 午後2時開講 4時終了

会場：大津市立 市民文化会館 2階会議室

テーマ：『熊と どう関わるか?』

講師：一般財団法人 日本熊森協会 会長 森山 まり子氏

司会：北村昌文 副会長

参加者：滋賀山友会 1名 湖南岳友会 2名 比良雪稜会 9名

救助隊事務局 4名 合計16名

『熊と どうかかわるか?』をテーマに、一般財団法人 日本熊森協会 会長 森山 まり子氏にお越しいただき、北村昌文副会長に進行役をお願いして、プロジェクターを使用した救助隊主催の安全登山講習会が開催されました。熊による人的被害の重大性という事で、登山者にも関心が高いと思われるわりに参加者は意外にも少なく、会場に親近感を持たせるため急遽テーブルの配置を変更して対処しました。



【講演概要】

日本の奥山は、戦後の誤った国策として進められた国土開発計画のため、その多くが針葉樹の放置人工林になり、大気汚染、地球温暖化等複合的に絡み合って原生林が荒廃してしまった。その為に、大型野生動物は棲み家と餌場を失い、生きる手段として人里に出、農作物をあさり、有害獣として駆除されている現状を報告されました。また、日本熊森協会は、奥山の保全と再生のために、ナショナル・トラストとして奥山人工林を買い取り、自然林への再生を目指す活動をしている実践自然保護団体であり、「動物たちに帰れる森を、地元の人たちに安心を」の合言葉で、動物たちに森へ帰れるように、堅果類であるドングリや栗の木を植え、殺さない鳥獣被害問題の解決をめざしています」と協会の現在おかれている立場を説明されました。

また、登山者にとっても話題性に事欠かない「熊」による被害については、「熊」は怖い動物だと誤解し、被害のみ強調した報道がなされている。「熊」は臆病で視力も悪いが嗅覚は犬の千倍もある。人の匂を嗅いで察知する能力を持っているが、摂餌に夢中になっている時や、風の向き、雨の日や谷川の音などで人間が発する声や音が熊に伝わらない場合もある。人間の存在を知らせるための方策を取り、出会いがしらの遭遇をなくす積極的な努力が人間側に必要ですとのこと。加えて、「熊」は社会性を持った動物で、古来人間と共存・共生して棲み分けができていた事実を改めて認識してほしいし、「熊」の生態をもっと正しく知って対処してほしいと強く訴えておられました。



【質疑応答】

登山中に会ったらどうすればよいのか？音を出して逆に熊を呼び寄せているのでは？違った視点で書かれた書籍等での情報で混乱が起きているのでは？熊森協会の活動、滋賀県支部の活動状況は？熊の日常の活動時間帯は？臨界距離？等々、登山者としての率直な疑問・質問が沢山出されました。この点については、上記の「熊」の生態を基に、より具体的事例を加えながら詳しく回答していただきました。最後に熊森協会への建設的な協力をお願いされ閉会となりました。

「人間による生態系のコントロールは不可能です。」の締めのお言葉は、帰宅してから現在も耳から離れません。この報告書をまとめている間にも各地で熊出没情報や北海道白糖町での罾による人的被害など目白押しの報道が続いています。

【用語説明】

臨界距離

捕食者がある距離以内に近寄ると逃走反応が起こり、なんらかの理由で逃げられずに次のある距離以内に近づくと今度は攻撃行動(防衛反応)が起こり、さらに次のある距離以下に追い詰められるともっと激しい攻撃行動(臨界反応)が起こること

(世界大百科事典 第2版 臨界距離の用語解説より抜粋)

C S S レベルアップ登山講座 第 3 回山行報告

旧日電歩道；下ノ廊下

山行日 2017 年 10 月 7 日夜発～9 日 天気：晴れ

講師 秋田

受講生 乾（彷徨倶楽部）東郷京（湖南岳友会）森原（湖南岳友会）
山中（湖南岳友会）小西（湖南岳友会）飯野（湖南岳友会/記録）

コースタイム

- 10/7 JR 守山駅 17：30～名神高速・中央道・長野道～
安曇野道の駅「ほりがね」
- 10/8 扇沢 7：30～黒部ダム 7：50～鳴沢 9：15～
高巻丸木階段 12：07～十字峡 16：26～仙人谷ダム 17：01
～阿曾原温泉小屋 18：20
- 10/9 阿曾原温泉小屋 5：50～折尾ノ大滝 7：53～大太鼓 8：55
～志合谷 9：45～樺平 12：07～宇奈月温泉

今季 10 月初めまで残雪通行整備作業が続き、やっと開通したばかりの下ノ廊下をテント泊山行してきた。

両日とも快晴で風もなく心地よい、黒部溪谷を適度な緊張感をもって、高度感と絶景を楽しむことができた。

10 月 7 日、JR 守山駅を車 2 台で出発。名神高速・中央道・長野道経由で安曇野道の駅「ほりがね」に到着し仮眠をとる。

10 月 8 日、5：30 安曇野道の駅から扇沢を目指して出発。扇沢から 7：30 発のトロリーバスに乗車し、7：50 に黒部ダムに到着。

観光放流をしている黒部ダムを望み、いよいよ水平歩道に入る。前日までの雨と打って変わっての快晴。紅葉の進む旧日電歩道を進むと黒部川はコバルトブルー、コントラストが素晴らしい。



出発から1時間半、足取りも軽く元気に進むと、鳴沢のナメ滝に着く。緑と黄色のコントラストが素晴らしい。水しぶきをあげて水が滝となり撫で落ちる。

少しずつ高度が増していく、番線を頼りに歩みを進めると大きな残雪に遭遇した。丸太梯子やロープを使い、残雪を高巻きする。



黒部ダムから8時間半の歩行、緊張の連続で疲労の影が見え始めたころ、十字峡にかかる長い吊り橋（東谷吊り橋）を渡る。高さと揺れに腰が引ける。



16:50 仙人谷ダムに到着。ダム堰堤の上を歩き、ダム施設の通路を抜けて阿曾原温泉小屋を目指して歩みを進めるが、日没も早いこの時期ヘッドライトで足元を照らしての歩行は慎重に一步一步。

18:20 阿曾原温泉小屋に到着。テント場は大混雑で張る場所がない。

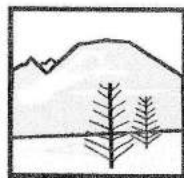
探して何とか2人用テントが2張り張れたので女性陣の寝場が確保できたが、男性陣は小屋床下でテントに包まって夜を過ごした。

10月9日5:50 本日も快晴、出発！！

9:00 大太鼓を通過、ここぞ下ノ廊下！！
岩を削り貫いての歩道、高度感半端ない！！ 足元慎重に、番線を頼り、岩壁、頭上に荷物をぶつけて振られないように一步一步進む。
志合谷のトンネルを二つほど抜けると檜平に近い。



11:30 天狗の頭、不帰嶮 唐松岳を背景に全員揃って記念撮影。
12:07 檜平に到着。12:40 発のトロッコ列車で下山。宇奈月温泉で汗を流して帰路に着く。



山を安全に楽しむための

登山教室

滋賀県勤労者山岳連盟

友永 芳和

その8

10月29日は滋賀県登山祭典へ

10月に行われる新日本スポーツ連盟のスポーツ祭典月間に協賛して、10月29日(日) 県勤労者山岳連盟でも登山祭典を行います。山とコースを簡単に紹介しましょう。



〇〇年に開かれた第54回滋賀県登山祭典(〇〇〇〇山で)

で、京都側の白石神社からあまり歩かれていないコースを歩き、中継所で東海自然歩道と合流し山頂に向かいます。山頂で「シャイベ」のような京都タワーの眺めを楽しんでください。下りはしばらく自然歩道を歩き途中から膳所本町に向かう

どのコースも見所いっぱい

音羽山

大津の巖山として東海自然歩道が設置され、多くの登山者に親しまれています。今回は少し変わったコース

尾根に入り、良々踏まれた山道を下ります。

雨乞岳

鈴鹿山地の好展望台です。歩行時間も長く健脚向きです。山頂付

織山 (きぬがさやま)

別名「観音寺山」とも言います。昔近江の豪族六角氏の居城だった

なお野点も行われません。山で楽しむお茶も格別です。

己高山 (こたかみやま)

湖北の名峰の一つです。近江で一番古いお地蔵様と言われる六地藏や山岳寺院たった鶏足寺跡などがあり、山頂からは、伊吹山や金葉岳などが見えます。下りは展望の良い尾根道歩きです。道は長く整備されています。

金勝アルプス

これは皆さんご存知です。京都五山の送り火の「大」の文字のある山です。道も長く整備され登山者も多い山です。谷沿いの道では少し荒れた所もありますが問題は無いでしょう。山頂からの京都市街の展望は絶品です。ゆっくりと楽しんでください。

名前の通りアルプスを思わせる巨石、奇岩の中を行くコースです。また山岳宗教の栄えた場所でもあり、磨崖仏や寺院跡が各所にあります。

コースは長く整備されていますが、花崗岩の滑り易い所もあります。天狗岩の頂上は柵などありません。落ちないように注意してください。逆さ観音やヤオランタ壇場など見所もいっぱいです。

大文字山

近の池では雨乞い神事が行われていたとつです。コース沿いには、イヌシデやミスナラの木があります。また進如上人旧跡などもあります。

余裕があれば観音正寺を参拝してください。

問合せ先/滋賀県勤労者山岳連盟 ☎080(4971)6233 (友永)

県連盟40周年を迎えて

西村 高行（比良雪稜会会長）

40年というのは感慨深い。

創立時と40周年の その両方の現場に立ち会えるというのは、本当に幸せなことである。そして私と「山」との関わりの土台に大きな影響を与えてくれた寺川庄蔵氏(県連初代会長・比良雪稜会初代会長)に改めて感謝したい。

1977年の連盟結成当時、私は滋賀山友会の一会員(2年後の79年に志賀・堅田地域の会員を中心に発足した比良雪稜会に移籍)であった。

草創期、寺川会長の強力なリーダーシップで登山祭典・障害者登山・ちびっ子冒険学校・スキー合宿・比良全山縦走等、多彩で活発な活動を行っていた。

当時、私は仕事が忙しく参加の少ない会員であったが、それでも主要な行事・活動には出来る限り参加してきた。

今から思えば、時代背景もあったと思うが、実にエネルギーにいろんな事をやってきたことが懐かしく思い出される。当時、会員のほとんどが20代、30代と若かったし楽しかった。

登山祭典は比良八雲ヶ原や田上鎧ダムなどへ全会集中して、模擬店を出したりファッションショー(登山スタイルの)やゲームをしたり。模擬店は、比良雪稜会といえばイカ焼き。市場でイカを仕入れ、腸を抜き、竹串を作り、特製タレに浸け炭火で焼く。

いい匂いをプンプンさせ好評であった。

中でも、滋賀県連盟を代表するものが清掃登山である。これは連盟発足以前の1973年に滋賀山友会が全国に先駆けて実施したもので、その後連盟が引き継ぎ今年で第45回を迎えた。全国連盟は翌年から各連盟に呼びかけて実施。(なので第44回)

自治体を巻き込んで(協賛・後援)の清掃登山は滋賀だけで、これは当初からの粘り強い働きかけの賜物である。

このように清掃登山は、滋賀が発祥で全国に誇れる素晴らしい活動である。

“湖国の豊かな自然を次の世代に！ あなたも出来る自然保護！”のキャッチフレーズがいい。今後とも継続発展されることを願う。

それと共に忘れられないのは清掃登山の一環事業として、79年から始めた「比良山系全域の水質調査(沢水の)」だ。(その後、調査地点を県下各地に拡大。数年前に活動停止。)

これは78年に八洲の滝調査登山で水質検査したところ、「飲料水に不適」の判定。原因を調査すると源頭部の山上に大量のゴミが不法投棄されていた衝撃的な事実が判明したことから。その後、年2回の水質検査を継続すると共に、自治体や企業に改善を求め続けた結果、改善された。

尚、比良雪稜会が2000年から独自に始めた「比良山系の飲み水水質調査」活動は毎年続けており、今年も11月実施予定で18回目を迎える。比良山系数か所の水場の水を水道水検査基準の項目で検査しているもの。当に清掃登山のキャッチフレーズ精神の実践である。お金も手間も掛かり、即どうこうは無いものの、継続することで目に見えないけれど大きな効果はあると確信しているし、長期のデータは貴重でいつか役に立つかもしれない。

大変悲しい出来事として忘れられないのは、結成翌年の78年2月、北ア五竜岳における山友会の4人全員が亡くなるという遭難事故である。

「連盟」の力は大きい。一つの会としては微力でも、連盟としてまとめれば、大きな力が発揮できる。連盟でなければ出来ない事は少なくない。役員だけががんばっても動かない。実際には各会各会員がどれだけ積極的に参加結集するかにかかっている。

連盟の役員は妻と私合わせて、90年代から2000年代にかけての10年位だけだが、愛着は強い。連盟が出来た時から居るのだから。

今日まで総会・理事会・代表者会などでいろいろ意見を言ったり注文を付けたってきたが、それも連盟を思っただけのこと、愛情があればこそからである。同時に一会員として、又比良雪稜会として県連の活動・行事に積極的な参加協力を心掛けている。今後もその姿勢は変わらない。連盟の益々の発展を願って。

滋賀労山発足40周年に寄せて

県連盟発足40周年、おめでとうございます。

山友会、大津山の会「ケルン」、近江ハイキングクラブで県連盟を結成。その後、地域に根差した会を目指し、伊吹山麗会、鈴鹿山歩会、彦根山の会、湖南岳友会、里山ハイキングクラブ、高島山の会、比良雪稜会、ちごゆり山歩会、彷徨倶楽部、シャクナゲ遡行クラブが誕生した歴史があります。(現在

は、滋賀山友会、湖南岳友会、比良雪稜会、ちごゆり山歩会、シャクナゲ遊行クラブ、彷徨倶楽部が加盟。)また、関わられた会員も千数百人を数えるのではないかとおもいます。

40年間にわたり継続できたのは、こうした多くの皆さまと今も活躍されている皆さまの頑張りがあったからこそと感謝いたしております。

発足当時、登山は3K(きつい、危険、汚い)と言われ、人気がないスポーツでした。今は、テレビで日本百名山が紹介され、登山者の憧れの山となっています。また、中高年登山者が活躍する等、国民的スポーツとして発展しました。

そうした中、昨年、「山の日」(8月11日)が制定され、国民の祝日となりました。登山の更なる発展にとって、画期的なことであり、大変喜ばしいことだとおもいます。

海外の山への憧れがありました。山友会が生まれるきっかけは、寺川さんが労山全国連盟ではじめての「ヨーロッパアルプスツアー」に行きたいと京都労山に入会を申し出た時、「滋賀に労山を創ったら」と進められ、職場等との仲間と創られたのが始まりでした。以後、兵庫や大阪、京都労山等、近畿や全国でヒマラヤ遠征の機運が高まり、滋賀においても1982年にネパールヒマラヤ ランシサ、リー(6,400m)へ遠征、全員登頂という成果をあげました。ヒマラヤへの「夢」を実現させたのです。

若い人には旺盛なチャレンジ精神があります。発足当時は、若い人ばかりで活気がありました。毎日仕事が終われば事務所に集まり、ワイワイガヤガヤと他愛もない話に花を咲かせ青春時代を謳歌しました。こうした中で、寺川さんを皮切りに会員同士の結婚が多くありました。結婚式も実行委員会を設置、手作りで創意・工夫のあるもので一生の思い出になったのではないかとおもいます。(一大ブームとなりました。)

県民に向けた活動も清掃登山や登山祭典だけでなく、ちびっこ冒険学校や障害者登山等、広く展開されました。(若いエネルギーがあふれていた時代でした。)

現代は、中高年齢層が中心になっています。

全国総会等を見ても出席者の大半を占めており、将来を考えた時、これでいいのかな?と誰もがおもいます。

若い登山者・ハイキング愛好者による会を創りませんか?

昨年、勤務先で「山の会」が出来、若い人が多く入会してきました。今年入社した社員(高校で山岳部に入っていた)も何人かおり、秋にはバスをチャ

ーターして立山登山を計画しています。

若い登山愛好者も増えています。

登山・ハイキングを楽しみたいという若い人を結集して新しい会を創ることからはじめてはどうでしょうか？

なぜなら、中高年ばかりの会には、若い人は入会しないからです。(ちごゆりの例会の時、入会したい会を探しているという若い人に呼びかけたら「平均何歳ぐらいですか?」と質問され、「70歳以上」と答えたら敬遠されました。50代の人でもそうです。

今、私たちの周りにはリピーターがどれだけいらっしゃるのでしょうか？

清掃登山や登山祭典の一般参加者の割合を見てみると全体的には少ない状況だとおもいます。これは、日常の活動をはじめ、外部への働きかけが弱くなってきていると言えるのではないのでしょうか。40周年記念行事として「道迷い遭難事故の現実と対策」や「天気図の読み方」等、著名人による講演会は一般の方にも呼びかけ大好評でしたが、多くの登山愛好者の要求にもっとこたえる活動を展開、リピーターを増やし、清掃登山や登山祭典の発展につなげていく、また会員として迎えていくことが大事だとおもいます。

湖南岳友会や比良雪稜会のような地域に根差した会づくりを推進していきましょう！

一つの会で何百人もの会員を要することはできません。

連盟をリードする会には、以前そうであったように、指導者が中心となって新たな会を創る使命があり、力があるとおもいます。ぜひ、地域の登山愛好者と一緒になって新しいクラブを創ってください。

「新たな夢」を提言しませんか？

夢を持つことは大事です。実現に向けてチーム一丸となることができます。また、活力が生まれます。

一人ではできないこと、一つの会ではできないことを連盟が主導して実現していく取り組みがあれば、やりがいと楽しみ、組織としての連帯が高まっていくのではないのでしょうか？

次の10年をみんなの力で、豊かで実りあるものにしていきましょう！

ちごゆり山歩会 柴田 英男

ぐうたら理事長のつぶやき

比良全縦は天気にも恵まれ無事に終了しました。参加者15人で、残念ながら4人の方がリタイヤされ完歩者は11人でした。毎年行っている全縦ですが、会員の高齢化に伴いコースの変更など検討する時期にきているようです。来期のコースなどについて検討委員会を立ち上げ検討したいと思います。9月30日に行った救助隊安全登山講習会「熊とどう関わるか」は16名の方が参加され、日本熊森協会会長の森山さんの貴重なお話を伺うことができました。熊対策は熊に出会わない事です。音や叫び声で人がいる事を知らせましょう。なお「熊鈴を鳴らすと熊が寄って来る」というのは間違いです。

登山祭典も近づきました。ひとりでも多くの方を会員として迎える事が出来れば嬉しいですね。

10月で私もとうとう69歳になりました。山登りを始めた頃は、この年まで山を歩いているとは思いませんでした。老体？に鞭打って頑張っています。

年を取ると、昨日の事は忘れても昔の事はよく思い出せるそうです。何となくそんな年ごろになってしまったようです。今、暇を見て九州の山を歩いていた頃の記録をまとめています。その一つ一つの記憶が蘇って、あの時は、この時はと、気が付けば何もまとまらず時間だけが経っています。

背振山地にある羽金山を登って麓にある長野という小さな集落でバスを待っていた時、小学生くらいの子供が登山靴を珍しそうに眺めていたので、脱いで手に取らせて見せてあげました。チョコレートと一緒に食べながら話をしたのですが、バスが運んでくる新聞を集落の30軒くらいに配達しているそうでなかなか感心な子でした。ほかにも色々話したと思うのですが、記録に残っているのは新聞配達の話だけなので、ほかの事は思い出せません。私と15歳ほど年が離れていたと思うので、今頃は良いお父さんになっていることでしょうか。ちょっと会いに行ってみたいな何て思っています。皆さんにとっては無駄な記憶のお話ですネ。

ここでクイズです。次の山の名前は何というのでしょうか？いずれも九州にある山です。

- ①夷守岳→宮崎県の霧島山群の近くにある1344mの山です。
- ②仰烏帽子岳→熊本県の五木地方にある1302mの山です。
- ③万年山→大分県の玖珠地方にある1140.2mの山です。
- ④陶ヶ岳→山口県の周防地方にある252mの山です。
- ⑤酒呑童子山→大分県津江地方にある1181mの山です。

答えは来月の県連ニュースで！

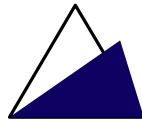
11月は時間が取れませんが残念ながら山行の案内はお休みです。12月は何とか時間をとりたいと思います。

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
11	3-5	南ア・黒法師岳 (CSS、レベルアップ登山講座)	11	3	皆子山	雪稜
				3-4	湖北・横山岳	山友
	4-5	全国救助隊技術交流集会		3-5	信越トレイル	彷徨
				5	横山岳	岳友
	8	第10回理事会		5	湖北・小谷山	山友
				5	比良飲水調査	雪稜
				11	比良・小女郎峠	山友
				12	魚の子山～宮メズラ	雪稜
				12	朽木・池原山～駒ヶ岳	山友
				12	比良鶴川越え	ちご
16			ミーティング	彷徨		
18			比良・蓬莱山、ふれあいハイク	山友		
12	2-3	第8回 女性と登山全国集会	12	18-19	イブネ テント泊山行	岳友
				19	愛宕山～水尾	雪稜
	6	第11回理事会		23	京都 北山	ちご
				25	比良・蛇谷ヶ峰	山友
	28-1	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)		25	葛城山～金剛山(ダイヤモンドトレイル)	彷徨
				25	ミーティング	岳友
				1-4	香港の山	彷徨
				2	忘年会山行、三雲城跡	山友
				3	朽木の山	山友
				3	那須ヶ原山	雪稜
1	6-8	野沢温泉スキー(スキーネット)	1	3	12月例会 養老山	岳友
				10	第12回理事会	9
	19-22	ニセコスキー(スキーネット)		9～10	総会・忘年会(希望ヶ丘)	ちご
				24	第13回理事会	14
	27-28	雪中テント泊/八雲ヶ原				17
				28	比良・蛇谷ヶ峰	17
	27	ミティング				24
				27-28	雪中テント泊/八雲ヶ原	1
	28	比良・蛇谷ヶ峰				1
				27	ミティング	3
27-28	雪中テント泊/八雲ヶ原	3	新春登山 武奈ヶ岳			彷徨
		28	比良・蛇谷ヶ峰	7	愛宕山・新年会	岳友
27	ミティング			7	比良 武奈ヶ岳	ちご
		27-28	雪中テント泊/八雲ヶ原	13-15	志賀高原ゲレンデスキー	山友
28	比良・蛇谷ヶ峰			14	新春山行/武奈ヶ岳	雪稜
		27	ミティング	18	ミーティング	彷徨
27-28	雪中テント泊/八雲ヶ原			20～21	比良テント泊	岳友
		28	比良・蛇谷ヶ峰	21	京都 愛宕山	ちご
27	ミティング			27	ミティング	岳友
		27-28	雪中テント泊/八雲ヶ原	27-28	雪中テント泊/八雲ヶ原	雪稜
28	比良・蛇谷ヶ峰			28	比良・蛇谷ヶ峰	山友

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会
 シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部
 スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀

滋賀県勤労者山岳連盟は
本年 40 周年を迎えました



原稿の投稿先（12月号は2017年11月15日〆切）
メールアドレス okunoyutaka@yahoo.co.jp まで

原稿はB5サイズ、フォント10~10.5で、使用する写真は
200KB以内として下さい。皆様のご協力をお願い致します。

「県連ニュース」№555

発行日 2017年10月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0836

大津市杉浦町9-30

Tel 080-4971-6231

Eメール shigarosan@gmail.com

<http://shigarousan.jimdo.com/>

ゆうちょ銀行(店名418)普通0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊

高玉 敬子

東郷 京子